

会 議 録

会議名 (審議会等名)	相模原市水とみどりの審議会		
事務局 (担当課)	水みどり環境課 電話042-769-8242 (直通)		
開催日時	令和6年3月15日(金) 14時00分～15時50分		
開催場所	エコパークさがみはら2階 学習室		
出席者	委員	7人(別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	5人(水みどり環境課長、他4人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 第2次相模原市水とみどりの基本計画・生物多様性戦略の実施事業の見直し(案)について (2) みどりの実態調査の報告について 3 その他 4 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

2 議題

(1) 第2次相模原市水とみどりの基本計画・生物多様性戦略の実施事業の見直し(案)について(資料1)

事務局による説明の後、質疑応答を行った。

(平野委員) 資料1の3ページの「法令等を活用した緑地の保全(212-2)」についてもう少し具体的に説明を行って欲しい。

(事務局) こちらについては、既に計画書に掲載している事業であり、都市緑地法に基づく特別緑地保全地区や市民緑地など各法令や条例に基づき保全を進めていくものである。

(秋永副会長) 自然共生サイトの市内での認定状況はいかがか。

(事務局) 市内にはまだ事例はない。今年度から始まった制度であり、これから進めていきたいと考えている。

(田淵会長) 認定数についてはいつまでにどのくらいを目標とするのか。

(事務局) 今年度環境省が認定したのは、前期122、後期63の合計185箇所になる。今回は市として自然共生サイトの取組を推進するにあたり、まずは実施事業に掲載したいという提案である。

(平野委員) 認定されるとどういったメリットがあるのか

(事務局) 現状では特にはない。環境省でも税制優遇等、経済的インセンティブの検討が進められている。

(秋永副会長) 登録されるとマークなどももらえるのか。

(事務局) 環境省で認定証を交付している。

(秋永副会長) 申請したいという団体がある場合、市で支援してくれるのか。書類の作成などが大変だと聞いている。

(事務局) 当然支援させていただこうと思っている。他市の事例等を確認していこうと考えている。

(香川委員) 経済的以外のもの、二酸化炭素の削減などの環境的な価値について検討されているのか。

(事務局) 森林についてはJ-クレジット制度などがあるように、今後、検討が進められると思われる。

(田淵会長) カーボンニュートラルや温暖化対策、人が必要とするみどりの量はどのくらいかなど、キーワードをしぼった形でメリットを発信することが必要であ

る。

(小川委員) 認定を目指すに当たって、生き物調査が重要となると思うが、アドバイスいただける専門家を市から紹介してもらえそうなネットワークはあるのか。

(事務局) 現状はなかなか対応できない。団体の方々が保全している地域内でモニタリングを行ったり、自然環境観察員が活動してくれているが、企業等から依頼を受け、その地域について一から調べるということは難しいと思う。

(小川委員) モニタリングの手法などまとめてもらえるといいと思う。

(秋永副会長) 私たちがモニタリングを行う際にわからないことがあれば、博物館の学芸員に確認をお願いしている。

(田淵会長) 生き物を見つけたときに投稿し専門的な知識を確認できるサイトなど、より生き物への関心を高めるツールを作り活用されるといいと思う。また、私は植物や野鳥関係については専門家であるし、本日、都合にてご欠席の2名の学識の吉永先生と松井先生はお二人とも水にかかわる生き物をご専門にされてるので協力をいただくなど、専門の知識を活用していったらいいと思う。

(平野委員) 「市まち・みどり公社事業の充実(222-2)」の修正内容について賛成する。ボランティアの情報交換や交流を図る取り組みを推進することを明記するのは、どの団体においても高齢化等による会員の減少が進んでいるので、非常に意義があると思う。

(尾崎委員) 「多様な媒体を活用した生物多様性の情報の発信(111-1)」について、SNSの活用を進めることに賛成する。高齢者にもスマートフォンなどが普及してきているので、進めていく必要があると感じる。

(田淵会長) 第2次相模原市水とみどりの基本計画・生物多様性戦略の実施事業の見直し(案)について事務局の案のとおりとしてよろしいか。(異議なし)

(2) みどりの実態調査の報告について(資料2)

事務局による説明の後、質疑応答を行った。

(香川委員) 計画の基本目標2で緑地面積については現状維持が目標だったが、今回の調査の中で、面積が減少している点をどう捉えればいいのか。

(事務局) 今回調査したのは緑被地面積であり、これは市域の緑を航空写真で測定しているものである。緑被地面積は私有地も含めているので、開発が行われれば減少するものと考えられる。一方、計画で指標としているのは緑地面積であり、これは定義にしたがって緑地の面積を捉えているものである。緑地面積は基本的には大きく減らないものと捉えている。

(平野委員) ナラ枯れの被害で伐採されたものが多ければ、緑被率に影響するのか。

(事務局) 本数は減ったかもしれないが、全体として緑地として保全されていると

ころであるので、緑被率は減らないと考えている。

(小川委員) ナラ枯れで、大きい木が枯れることはいいか悪いか。

(平野委員) 大径木がナラ枯れになるのは仕方ないと思う。昔のように15年程度で伐採し、薪などに活用していくことが必要ではないか。

(小川委員) みどりをどう保全していくのか市として方針はあるのか。生物多様性の観点でどうあるべきか考えるには、今回の調査だけではなく、質の調査も大事になっていくと考える。

(事務局) 今回の調査は、森の管理に活用するものではない。

(尾崎委員) 花粉の季節ということもあり、その対応として、針葉樹を広葉樹に変えていくなど考えはあるか。

(事務局) 今回の調査は緑被率の調査であり、スギ花粉の状況や、どういう樹種を植えていくべきかなどの調査ではない。森林については、大部分が津久井地域であり、また私有林だけではなく民有林や国有林などがある。森林政策課がさがみはら森林ビジョンに基づき管理している。

(田淵会長) みどりの実態調査について今後公表することに意見はあるか。(意見なし)

3 その他

次回の審議会については、令和6年8月以降に開催し、令和5年度の事業の実績報告について審議を行う予定である。

以 上

水とみどりの審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	田淵 俊人	玉川大学農学部 教授	会長	出席
2	松井 久実	麻布大学獣医学部 講師		欠席
3	吉永 龍起	北里大学海洋生命科学部 教授		欠席
4	尾崎 義信	公募委員		出席
5	秋永 眞里子	特定非営利活動法人境川の斜面緑地を守る会 理事	副会長	出席
6	小川 智代	特定非営利活動法人みどりのお医者さん 理事		出席
7	香川 健	相模原商工会議所 3号議員 (東京ガス株式会社神奈川西支店 支店長)		出席
8	香田 隆芳	「小松・城北」里山をまもる会 副会長		出席
9	平野 和夫	特定非営利活動法人相模原こもれび 理事長		出席